

行政視察報告書

令和6年11月8日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 田中 真浩

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度総務教育常任委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和6年10月21日（月）～10月22日（火）
3. 視察場所及び目的
 - ①岡山県高梁市
豪雨災害を教訓とした防災対策について
 - ②島根県出雲市
市立幼稚園の今後のあり方について
4. 調査内容感想等

岡山県高梁市

高梁市役所 防災復興推進課より高橋市の豪雨災害を教訓とした防災対策について説明を受ける。26,000人強という長浜の4分の1程度の規模の市である。

平成30年7月集中豪雨により甚大な豪雨災害が起こっており、災害救助法適用・災害者生活再建支援法適用・特定非常災害指定・激甚災害指定されており、災害の甚大さがうかがえる。二つの谷が落ち合うという地形上水害から逃れられない環境でありどの地域も等しく被災する可能性が高いし、過去の豪雨災害もある、また、人口が少ないため防災意識が非常に高く、住む人の共通認識になっているようだ。消防団の意識は当然高くポンプ操法では全国優勝もはたしている。豪雨災害によって防災復興振興課が設けられ、大きな働きになっている。

生活基盤・インフラ・住宅復旧支援・生活の再建・当復興基本構想に従って進められ、より災害に強い都市づくりを目指されていきました。長浜市も一昨年の高時川の氾濫がありました。その時、激甚災害に認定されましたが、それでも市街地の一部であり高梁市のように市街地の大部分が被災することがないため、高梁市に比べ防災に対する意識、共通認識が低いと思われます。これは市民、行政双方に感じられます。行政はよくやっておられますが、身につまされていない気がします。まず、市民・行政の防災意識を向上させることと、災害の想定、対策、啓発に努めハード面を充実させることが肝要かと考えます。

島根県出雲市

平成の大合併で出雲市は 2 回にわたり 2 市 5 町が合併し、現在の出雲市となっている。合併により 30 園を抱えることとなるが、合併時より 30 園を存続させていたが、もともと小規模園が多かったうえに昨今の人口減少に伴い園児が少なく経営困難な園がでてきた。また、保護者のニーズの多様化や、外国人の多さから多くの問題も発生し、園再編、(統合)を推進することとなった。園を統合するにあたり、出雲市では令和 4 年(市立幼稚園のあり方検討ワーキング会議)を組織し検討を行い。様々なデーター調査・分析・現状把握・委員の意見から検討課題の整理を行い報告を上げた。

これまでの出雲市の取り組みは、

*2 年間 9 名以下が続いた園は閉園とする。

*今後減少が懸念される園は認定こども園化(社会福祉法人等への譲渡)

*閉園・法人への譲渡

とすすめていた。

今後、再編統合を進めるために上記された市立幼稚園のあり方検討ワーキング会議を設け今にいたっているが、担当職員の話を知っていると問題は難しいと思わざるを得ない。まず親のニーズが多様であることに加え規模・距離・時間・質に対して親の要望は結構わがままであるし、しかも保育料は低料金でというから、すべてをクリアさせるのは予算が潤沢である自治体でないと困難だと感じた。検討しなければならない問題である。長浜市も、園のみならず小学校・

中学校の再編統合を進めなければならない状況だが、議員として考えなければ
ならないものは、まず誰のための再編統合なのかということだと考える。子供の
将来、幸せを考えるなら、上記問題は大人の都合でしかないものが多い見受けら
れる。子供の将来・幸せを第一義に考え、諸問題は大人が解決していくものだと
思う。